

政策課題研究 2

在来魚の保全に向けた水系のつながり再生に関する研究

在来魚の保全に向けて、魚介類の生息・産卵環境の形成に影響がある土砂移動に着目し、「森 - 川 - 河口」の土砂移動メカニズムを解明するとともに、地域が主体となる自然再生活動の継続性を検証することにより、産卵環境に資する土砂管理方法や地域における自然再生活動を継続させるためのポイントを提示します。

<サブテーマ>

- ・ 森林管理の状況や時期による森林からの土砂流出パターンの把握
- ・ 河川で魚類の保全に有効な河床土砂管理方法の把握と望ましい河床環境の検討
- ・ 過去の流域環境との比較に必要な環境変遷の視覚化と数量化
- ・ 地域における自然再生活動を継続するための取組検討

【現状における課題】

・ 河川構造物等や河川水量の減少による土砂堆積

・ 森林の下層植性衰退による多面的機能の低下

・ 土砂供給不足等による産卵環境の悪化



好適なアユ産卵床の礫(10mm前後)



産卵準備行動をするビワマス(家棟川)

土砂移動が変化

土砂移動メカニズムの解明

【課題解決に向けた対応】

1 森から川、河口への土砂移動メカニズムの把握

- 森林からの土砂の流出状況を把握
- シミュレーション等によるアユの産卵床に重要な土砂や流量調整方法の検討



比較

2 森林や河川等の環境変遷の把握

- 空中写真等の調査や地理情報システムによるデータ化等により河川の環境変化を可視化

3 多様な主体の協働による保全・再生活動を継続するための仕組みの検証



○ 産卵環境の再生に資する土砂管理方法の提示

○ 魚介類の再生に資する地域活動の継続に重要なポイントの提示